

## 第5回 ウルトラ FM 番組審議会

### 1 開催年月日

令和2年1月20日(月) 10:00～12:00

### 2 開催場所

須賀川市民交流センターtette 4-6 ルーム

### 3 委員の出席

委員総数 6人

出席委員数 6人

#### (1) 出席委員の氏名

堀江祐介 (会長)

安藤清美 (副会長)

村上香織

横山知佳

真壁正人

久保木彩歌

#### (2) 欠席委員の氏名

なし

#### (3) 放送事業者側出席者

菊地大介 (担当取締役)

柳沼宏延 (放送局長)

### 4 あいさつ

(菊地担当取締役)

1月11日でウルトラFMは放送2年目に入りました。1年間を振り返り、一昨年12月20日に試験電波、翌年1月11日に開局。イベント放送では、きうり天王祭や花火大会、松明あかしなどの生中継を行い、番組を制作する感覚がつかめたのではないかと思います。反省点もありますが、反省点を生かし放送していければと思います。

昨年に発生しました台風19号では、開局して1年も経たずに緊急放送を経験したことを、今後の放送事業に生かし、開局2年目の事業を計画していきたいと思います。

(堀江会長)

ウルトラ FM はこの 1 年間無事に放送できたことに、感謝します。慣れない中でラジオ局を開局しましたが、皆さんの放送に対するチャレンジの意欲を感じています。開局 2 年目に入り、課題もありますが、頑張っていたいただければと思います。

## 5 議題

- (1) サンセット RADIO (1 月 8 日放送分) について
- (2) 新春特別放送 (1 月 1 日放送分) について
- (3) 番組の一部変更の報告について
- (4) その他

## 6 議事の概要

- (1) サンセット RADIO (1 月 8 日放送分) について  
事務局からの概要説明の後、意見聴取を行った。

(安藤副委員長)

気象コーナーは、須賀川地方の天気を伝えているので良かった。須賀川に関するニュースや図書館の情報、フライト情報など、地元に着したコーナーを伝えていたので良かったと思います。

(久保木委員)

パーソナリティの落ち着いた声での放送に安心して聞けました。放送の情報量も多く、居心地よく放送が聞けました。

(真壁委員)

多くのコーナーがある割には、とても聞きやすい放送でした。

(横山委員)

皆さんと一緒にですが、日常の必要な情報とは別に、新年の話題を上手に話していた。子育てに関する情報もとても為になる話でしたので、楽しみながら聞けました。

(堀江委員長)

安定した口調での放送は、とても安心して聞けました。安藤副委員長からもフライト情報に関して良かった意見がありましたが、週 1 回でも良いので、福島空港から就航しています北海道、大阪、そのほかチャーター便の空席情報以外にトランジェット情報を全日空の職員が説明するコーナーを更に加えることで、福島空港の利活用に繋がると思いますので、放送を検討して頂きたいです。

(2) 新春特別放送（1月1日放送分）について

事務局からの概要説明の後、意見聴取を行った。

(横山委員)

ウルトラ FM の新春への意気込みを感じられる番組でした。楽しい雰囲気でもとても良かったです。

(真壁委員)

大人数で楽しい雰囲気でした。昔の須賀川についての話、特に映画館や商店街が正月とても活気があった思い出の話など、新春だから話せる内容でもとても面白かったです。

(安藤副委員長)

番組の冒頭、琴の音色でのスタートしたことは、とても新春の雰囲気を感じました。しかし、ラジオはテレビとは違い放送の様子が見られないので、大人数で盛り上がるのはいいですが、どんな様子なのかが聞いていて分からなかった。笑い声が多く、聞き苦しかった感じがあります。

(堀江委員長)

須賀川のよもやま話があり、とても聞いていて懐かしく感じる放送でした。

(菊地担当取締役)

新春特別放送は12月中旬に収録を行いました。内容は新年ということもあり、内容に気を付けながら番組を制作しました。

(3) 番組の一部変更の報告について

事務局の柳沼局長から番組改編についての説明が行われた。

(菊地担当取締役)

昨年末に番組を終了いたしました、鏡石町応援番組であるミラーストーンのモーモー娘ですが、出演者が仕事や環境の変化などで収録が困難になり、放送を終了しました。今後は特番で放送ができればと思います。

(堀江委員長)

鏡石町では聞いていた人が多いと聞いています。ファンも多かったと思いますので残念です。

(真壁委員)

多くの人に番組放送が変わったことを伝えるにも、番宣を作った方が良いと思います。

(4) その他

(村上委員)

歌謡曲を聞いている人が多いです。要望として、2月からつるし飾りをまちなかで始めるので、ぜひ放送してほしい。

(安藤副委員長)

FMが開局し、ウルトラ FMを中心にまちが繋がっていると思います。パーソナリティも放送に慣れてきている様子が見られ、内容も須賀川を意識した内容になってきていると感じられます。博物館の特別放送も聞いている人が多く、施設にとっても大きな効果がある。

(横山委員)

台風での緊急放送では、とても交通情報を気にしていました。常に台風情報が聞ける放送に対応できるようお願いします。

(久保木委員)

開局してしばらくたつと、パーソナリティの慣れ合い、特にプライベートの内容が多くなりがちになりますが、それも無くとも良いと思います。これからも意識して放送をしてほしいです。

(真壁委員)

楽しく聞けています。災害時の緊急放送についてしっかり対応していると思いますが、今後も頑張ってください。

(安藤副委員長)

ウルトラ FM を聞いているが開局時に比べ多くなっている分、須賀川に関する身近な情報を求めている人もその分、多くなっています。ウルトラ FM の存在感も大きくなり、今後も地元に着した情報を伝えてほしいです。

(菊地担当取締役)

コミュニティ FM は、95 年の阪神淡路大震災後に急激に増え、特に東日本大震災後にも増え続け、現在では 300 局以上となりました。ウルトラ FM では、地域に着した放送、減災に寄与することを忘れず、これからも放送に努めていきたいと思っています。現在、朝、昼、夕方に生放送を行い、その中で道路情報、天気情報、空港情報など身近な情報を伝え、特にパーソナリティごとに特徴を生かした独自のコーナーを持つなどコーナーの拡充を図っています。どのコーナーも人気で、そのなかで、私は方言特集を行っています。

今回初めて台風での緊急放送を行いました。この緊急放送の経験を生かして、現在、須賀川市と協定を結んでいます。災害協定内容を改めるよう考えています。特に地元消防団との連携が必

要と感じています。局としても放送体制を見直し、災害時の基本情報を放送できるよう、事前に収録したものを放送できればと思います。しかし、今回の緊急放送での災害情報は、多くの方から「助かった」「とても分かりやすい放送内容だった」との声を多く頂いたので、更なる情報を伝えられるよう考えていきたいです。

今後の事業として動画戦略を考えています。特に若者にもラジオを聞ける機会を増やすため YouTube での動画コンテンツを作り、ラジオに興味を持ってもらうことを狙っています。YouTube はコンテンツ収益がありますので、FM事業の収益にも繋がります。公共の放送局としての強みを生かし、放送事業の幅を広げていきたいです。

(堀江委員長)

テレビ局では、審議会にレスポンス情報を公開しています。できる範囲で対応できればと思います。

(安藤副委員長)

限られたスタッフの中でラジオ放送していますが、番組審議会の委員も協力できることがあるので、もしあれば話してほしいです。台風被害で改めてラジオの強さを感じました。避難所では必ず、ウルトラ FM を聞ける環境にすることを、災害協定に盛り込んでほしいです。

7 審議会の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

・特になし

8 審議会の意見の概要の公表

公表方法：自社ホームページへの掲載

公表内容：本議事録

公表年月日：令和2年2月1日

9 その他の事項

次回の放送番組審議会日程について

・4月を予定。開催日は会長と相談の上決定し、委員に連絡する。